

平成30年(2018年)2月7日  
 総務部財政課財政企画係  
 (課長)岡地 俊季 (担当)滝沢 倫弘  
 電話:026-235-7039(直通)  
 : 026-232-0111(代表) 内線2053  
 FAX:026-235-7475  
 E-mail zaisei@pref.nagano.lg.jp

## 平成29年度2月補正予算案(国補正対応分)のポイント

しあわせ信州創造プラン2.0の実現に向けた確かな一歩を踏み出すため、国の補正予算を最大限に活用した、平成30年度当初予算と一体型の補正予算を編成し、革新力に富んだ産業の創出・育成、収益性と創造性の高い農林業の推進、安全・安心な社会づくり等に取り組みます。

### ◎ 補正予算額

211億399万2千円

(債務負担行為 4億5815万4千円)

一般会計	210億7820万1千円
(債務負担行為)	( 4億5815万4千円 )
県営林経営費特別会計	2579万1千円

※ [ ]は成果目標

### ◎ 革新力に富んだ産業の創出・育成

#### (新) 生産性向上に資する研究・実証拠点の整備 7億5065万1千円

<産業労働部>

AI-IoT等最新技術の活用や高機能を追求した製品開発等、ものづくり産業の生産性革命を図るため、工業技術総合センターの施設・設備を整備

- ・IoTデバイス事業化・開発センターの整備(松本市)
- ・しあわせ信州食品開発センターへの機能性食品開発拠点整備(長野市)  
 [AI-IoT化による生産性向上に関する研究:10件(2019年度)]  
 [サプリメント等、新しい機能性食品の開発品目:20品目(2019年度)]

#### 製造業の生産性向上のための機器整備 6159万3千円

<産業労働部>

健康・医療系部品等の開発において、生産工程の短縮や高付加価値化を支援するため、工業技術総合センターに最先端機器を整備

- ・計測用X線CT装置の工業技術総合センター(長野市)への整備  
 [技術相談件数:100件(2018年度)]

## ◎ 収益性と創造性の高い農林業の推進

### 産地の供給体制強化のための施設整備支援 1億9165万8千円 <農政部>

生産出荷体制の効率化・高収益化を図るため、農業法人等が行う米乾燥調製施設や野菜集出荷施設等の整備へ助成

[販売額:10%以上の増加(2018年度)]

[契約割合:10%の増加(2018年度)]

### 農業の担い手育成のための設備・施設整備支援 2億1286万8千円 <農政部>

次代を担う経営感覚に優れた経営体を育成するため、農業者の経営規模拡大や経営コスト縮減に必要な農業用機械の導入やパイプハウス等の施設整備を支援

[経営感覚に優れた経営体の育成:51経営体(2018年度)]

### 地域農産物販売等拠点施設の整備支援 2500万円 <農政部>

中山間地域における農産物販売額の増加を図るため、収益性の高い農産物を販売する農産物直売所の増設など市町村が行う施設整備を支援

[都市農村交流人口:600,000人(2018年度)]

### 生産・流通・加工コストの一体的な削減に向けた取組への支援 6967万8千円 <林務部>

国際競争力の強化に向けた林業・木材産業の体質強化や素材生産作業の効率化を図るため、民間事業者等が行う高性能林業機械の購入、森林整備に直結する作業道や木材加工施設の整備へ助成

[県産材製材品出荷量:128千 $m^3$ (2018年度)]

[素材(木材)生産量:552千 $m^3$ (2018年度)]

## ◎ 安全・安心な社会づくり

### 災害時の緊急輸送路の整備や法面对策を推進[補助公共事業] 39億2649万6千円 <建設部>

豪雨等災害時における地域の防災拠点等へのアクセスを強化するため、安定的な道路交通・物資輸送を支える緊急輸送路等の整備や法面对策などを実施

### 再度の氾濫を防止するための河川改修等の実施[補助公共事業] 20億1613万9千円 <建設部>

中小河川の氾濫など近年の豪雨災害を踏まえ、河川改修や洪水時における避難判断に資する低コスト水位計の設置等を実施

### 土砂災害被害を防ぐ防災基盤の整備[補助公共事業] 56億8793万5千円 <建設部、林務部>

(債務負担行為 4億5815万4千円) <林務部>

土石流発生時の流木流出被害などの自然災害を防ぐため、砂防・治山の防災施設整備を推進

- ・被害拡大防止のための砂防施設の整備や地すべり対策工事等を実施
- ・溪流内に堆積した倒木の除去や治山施設の整備を実施

**安全・安心に暮らせるまちづくり・農村づくりの推進[補助公共事業] 31億9399万円**

〈建設部、農政部〉

県民の暮らしの安全を確保するため、災害に強いまちづくり・農村づくりを推進

- ・無電柱化や踏切改良を行い歩行者や自転車利用者が安全に安心して通行できる空間を確保
- ・災害活動拠点となる都市公園の防災機能を強化
- ・農地の豪雨対策やため池の耐震化、地すべり対策等を実施

**農林業を支える生産基盤の強化[補助公共事業] 21億1915万9千円**

〈農政部、林務部〉

農林業の安定した生産を確保するとともに、競争力の強化を図るため、農業生産基盤や森林の整備を実施

- ・水田のほ場整備によるコスト低減や荒廃農地の再整備によるワイン用ぶどう団地の造成
- ・基幹的農業水利施設の長寿命化や畑地かんがい施設の更新整備等
- ・林業事業者が行う森林機能の保全と地域資源の有効活用資する搬出間伐等を支援

**直轄事業負担金 24億8755万4千円**

〈建設部、農政部〉

「本州中央部広域交流圏」の形成に向けた幹線道路網の整備を促進するとともに、県民生活の安全・安心を確保するため、災害時の緊急輸送路等の整備、自然災害に備える防災・減災対策を実施

**地域鉄道の安全性向上への支援 4998万3千円**

〈企画振興部〉

地域公共交通の基幹として大きな役割を担う地域鉄道の安定した運行を確保するため、鉄道事業者が行う安全性向上のための設備整備へ助成

〔鉄道施設の老朽化、設備不良に起因する重大事故の発生件数:0件(2018年度)〕

**障がい福祉施設の整備支援 2億5863万1千円**

〈健康福祉部〉

障がい福祉施設等の基盤整備を推進するため、社会福祉法人等が行う施設の創設・改築等へ助成

〔障がい福祉施設整備数:12か所(2018年度)〕

**(新) SNSを活用した相談体制の構築 1000万円**

〈教育委員会〉

いじめ・不登校等に悩む子どもの「相談したい気持ち」に応えるため、学校生活相談センターに、いじめ・自殺防止等に向けたSNSによる相談体制を構築

**◎ 自然環境の整備**

**自然公園内の老朽化した自然歩道の施設整備 1686万6千円**

〈環境部〉

国立公園の防災・減災対策を図るため、老朽化が進んだ自然歩道の改修を推進

〔自然公園の利用者数:3,665万人(2018年度)〕